

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	塩屋北放課後等デイサービス ポニー		
○保護者評価実施期間	2024年 1月20日		～ 2025年 2月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名 (うち双子2名)	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年2月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の連携がとれている	日々の支援で気になる事や、出来るようになったことがあればその都度職員間で共有し「昨日こんなことがあったんです」とお休みだった職員への共有も意識的に行っている。	ビジョントレーニングやワーキングメモリのトレーニングの仕方など、子どもたちに必要な支援方法や教材について、定期的に新しい資料を作成し、閲覧する。
2	子どもと保護者のニーズに沿った、支援計画を作成し、支援計画に沿って、子どもの特性に応じた専門性のある支援を提供できている。	支援計画にあがった支援目標については、子ども達自身も意識できるよう教室に掲示し、「ぼくの目標はこれ」と自分たちで意識できるようにしている。また職員も各児童の目標が常に目に入ることで、支援計画に沿った支援を提供できるように努めている。	ケース検討会議を年に6回行い、個々のケースについての知識を職員全員で深めていく。
3	ポニータイムや運動レクは、活動が固定化しないように週替わりで担当者を変更している。	発達に必要な基本動作や、発達により運動レクの一覧を職員室に掲示し、担当者の経験年数による偏り等がないよう工夫している。	個々の苦手な運動、課題点などを職員間で共有し、その日のメンバーに合わせたプログラム内容になるよう、プログラムを立案する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会や保護者会、集団でのペアレントトレーニング研修を開催実施できていない。	当事業所に通われていることをオープンにしていない児童もおられることで行っていない。保護者のご要望があれば検討したいと考えていたが、こちらから保護者の方へ「あれば参加したいか」といった意見を聞いていなかったため、一度アンケートをとってみたい。	今回の保護者アンケートを踏まえて、「保護者会や研修会があれば参加したいかどうか」についてアンケートを実施し、希望の有無により今後の方針を決定したい。
2	ポニーの子自身で荷物の整理がしやすい環境を作りたい。(荷物カゴが部屋にバラバラに置かれていて、スペースが狭くなってしまっている場面がある。)	荷物カゴを置く場所や片付ける場所が、固定されておらず、好きなおところにおいてしまうため、荷物カゴが部屋のど真ん中においてあったり、おもちゃ棚の前において、おもちゃが取りにくいなどの場面がみられる。	カゴの置き場所を固定し、決められたところに荷物をいれるようにしていきたい。また、部屋のスペース確保のため、ロッカーの設置も検討したい。
3	ブログの更新頻度についての告知ができておらず「なぜポニーはブログがなかなか更新されないの？」という不信感につながってしまった。	ポニーのブログに関しては、写真を好まない児童が多いことや、学習中の写真撮影は集中力低下につながるなどからブログは最低限にしていたが、更新頻度がさがることについての告知ができていなかった。	ブログの更新頻度についての案内を配布する。ブログの更新よりも日々の支援に重きを置いていることを案内に記載する。